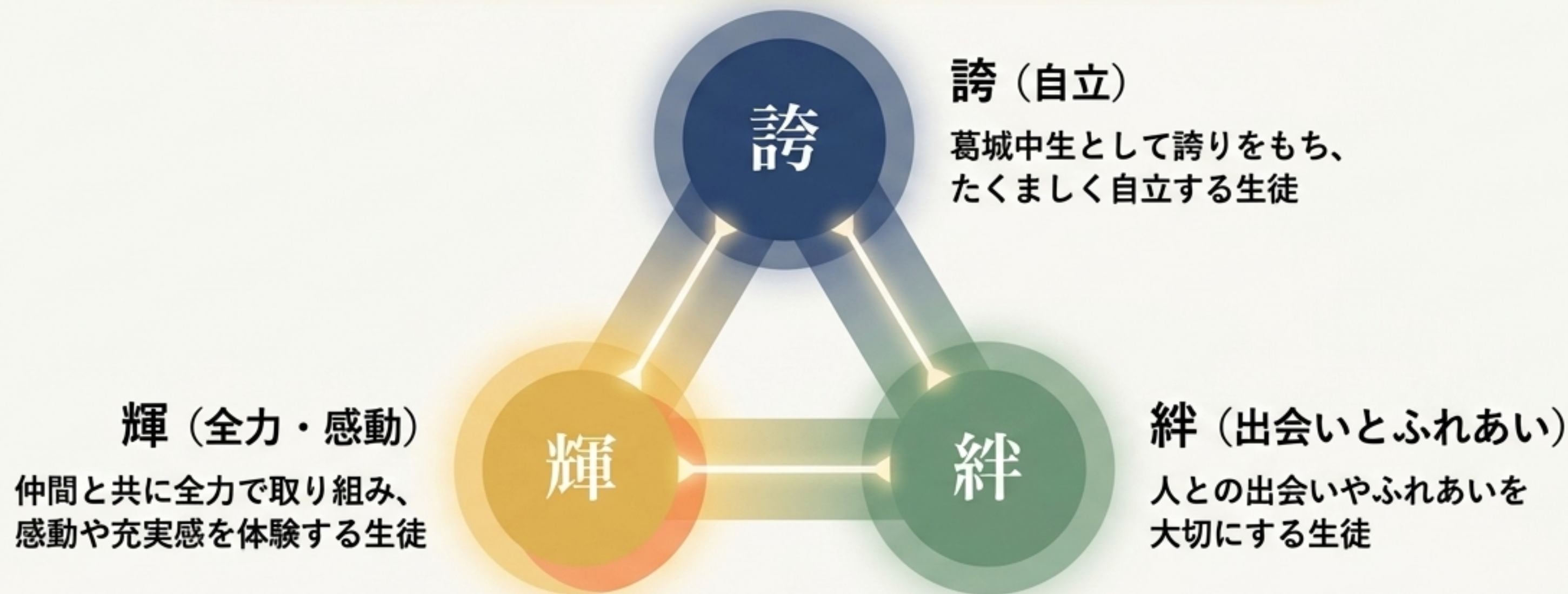


令和8年度 葛城中学校 基本方針・学力向上推進計画

「たくましい生徒 仲間と共に伸びる学校」
の実現に向けて

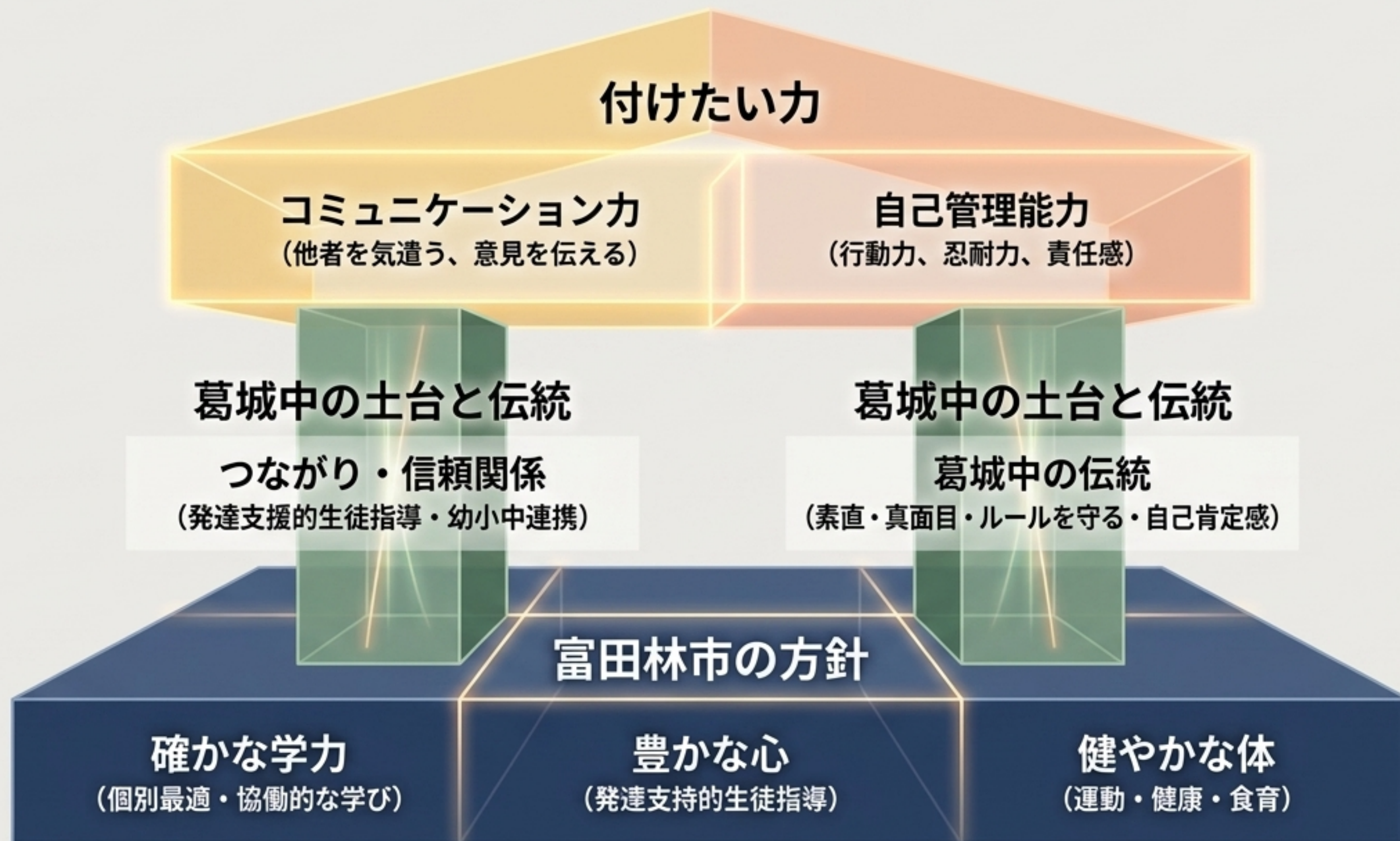
目指す学校の形：誇・絆・輝のトライアングル

大目標: たくましい生徒 仲間と共に伸びる学校



この生徒像を実現するため、夢を抱かせ情熱を持つ教師陣が、地域と連携し一丸となって取り組む。

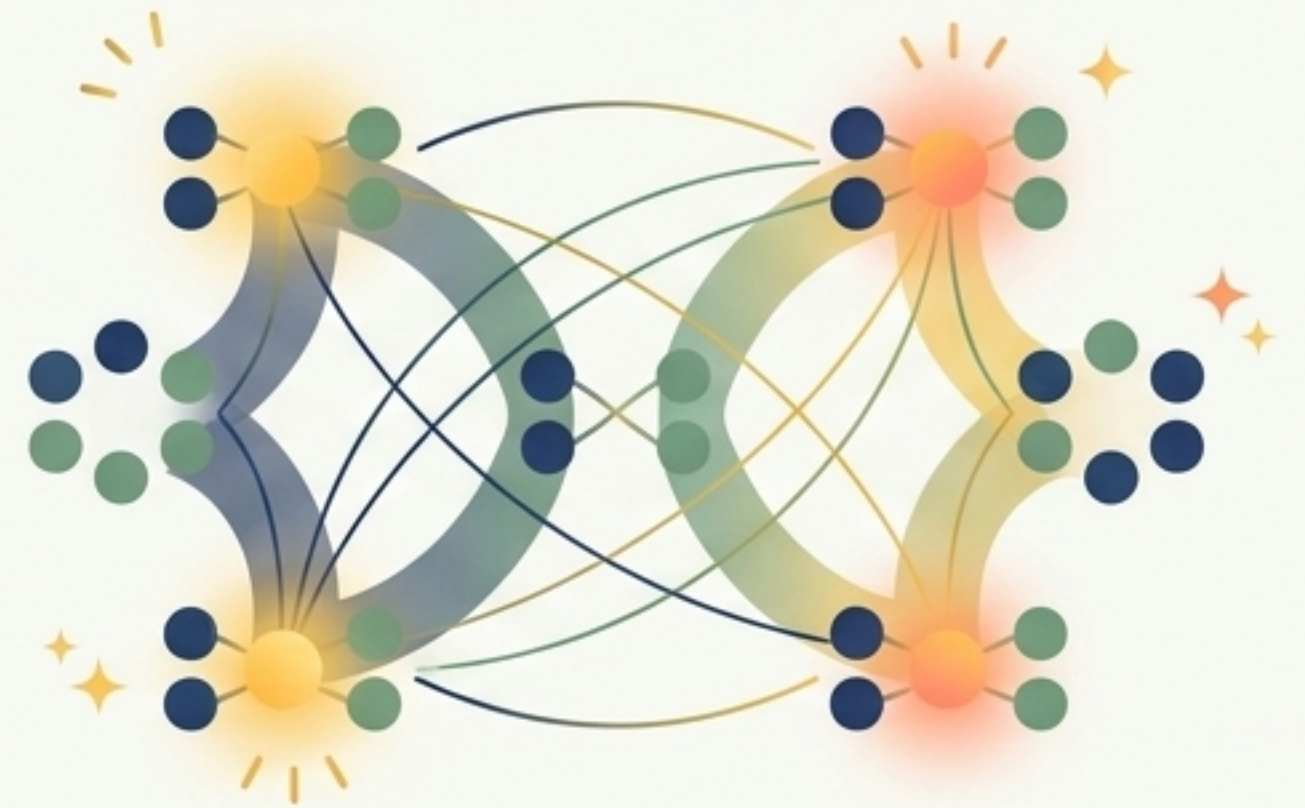
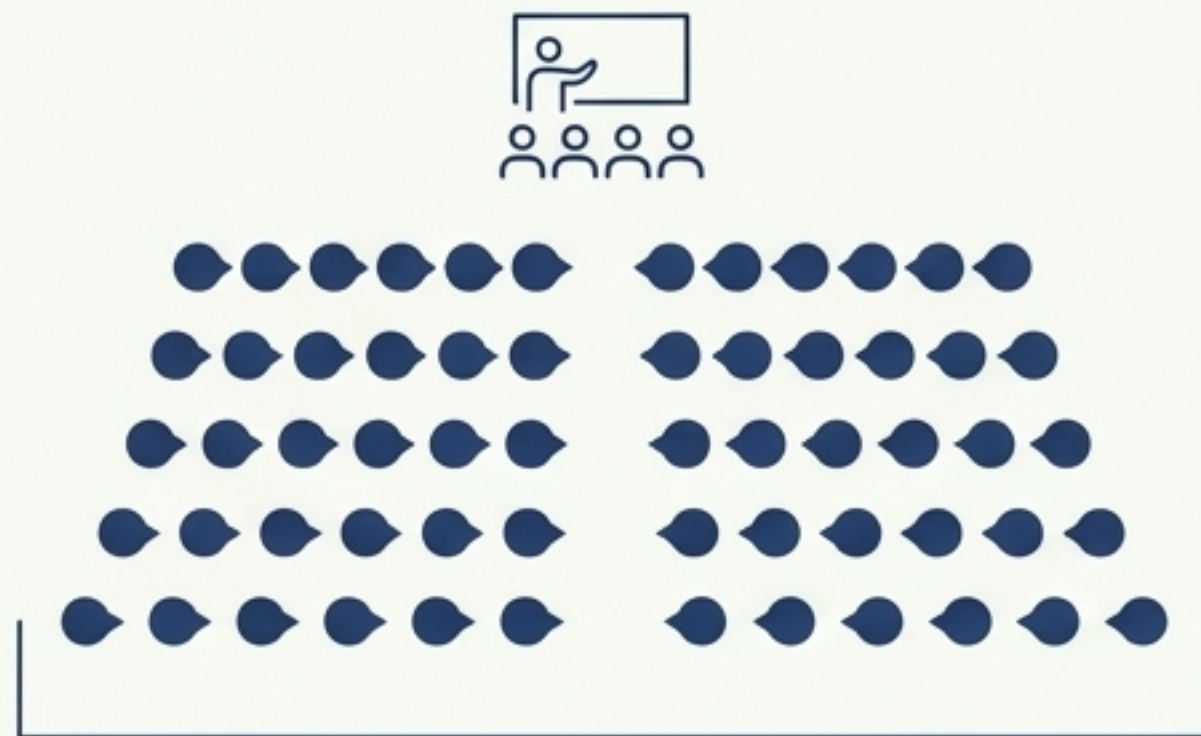
富田林市のビジョンと葛城中学校の実践の連動



令和8年度の中核戦略：どの子ども授業の中で輝く場面を

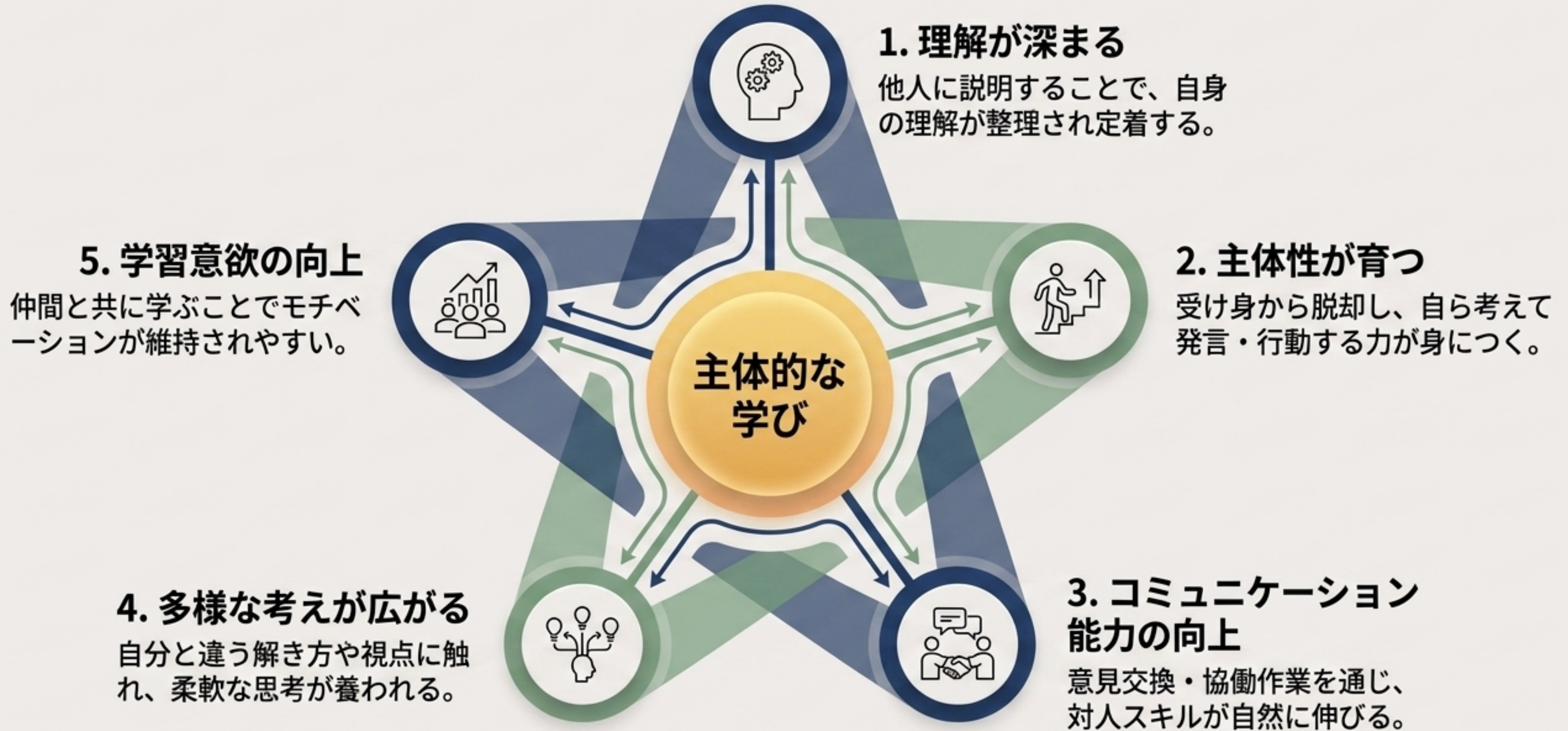
どの子ども授業の中で輝くことのできる場面をつくらう！

今年度の研究テーマ：「ペア・班学習による学び合いを通じた理解の深化 — ピア・ラーニングの効果的な活用」

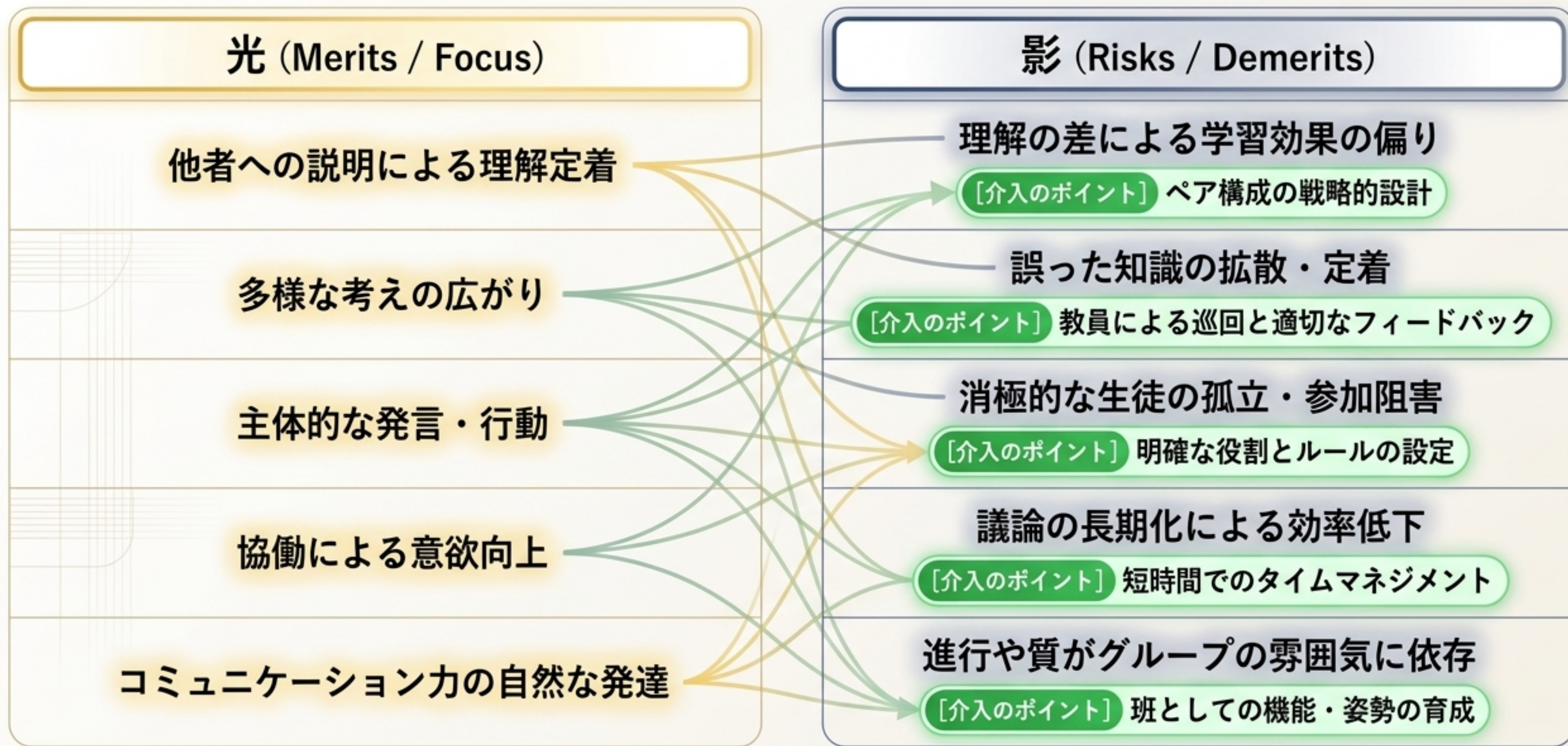


ピア・ラーニングとは、単なる「グループワーク」ではありません。
学習者同士が対話や協力を通じて主体的に学び合う、意図的にデザインされた学習手法です。

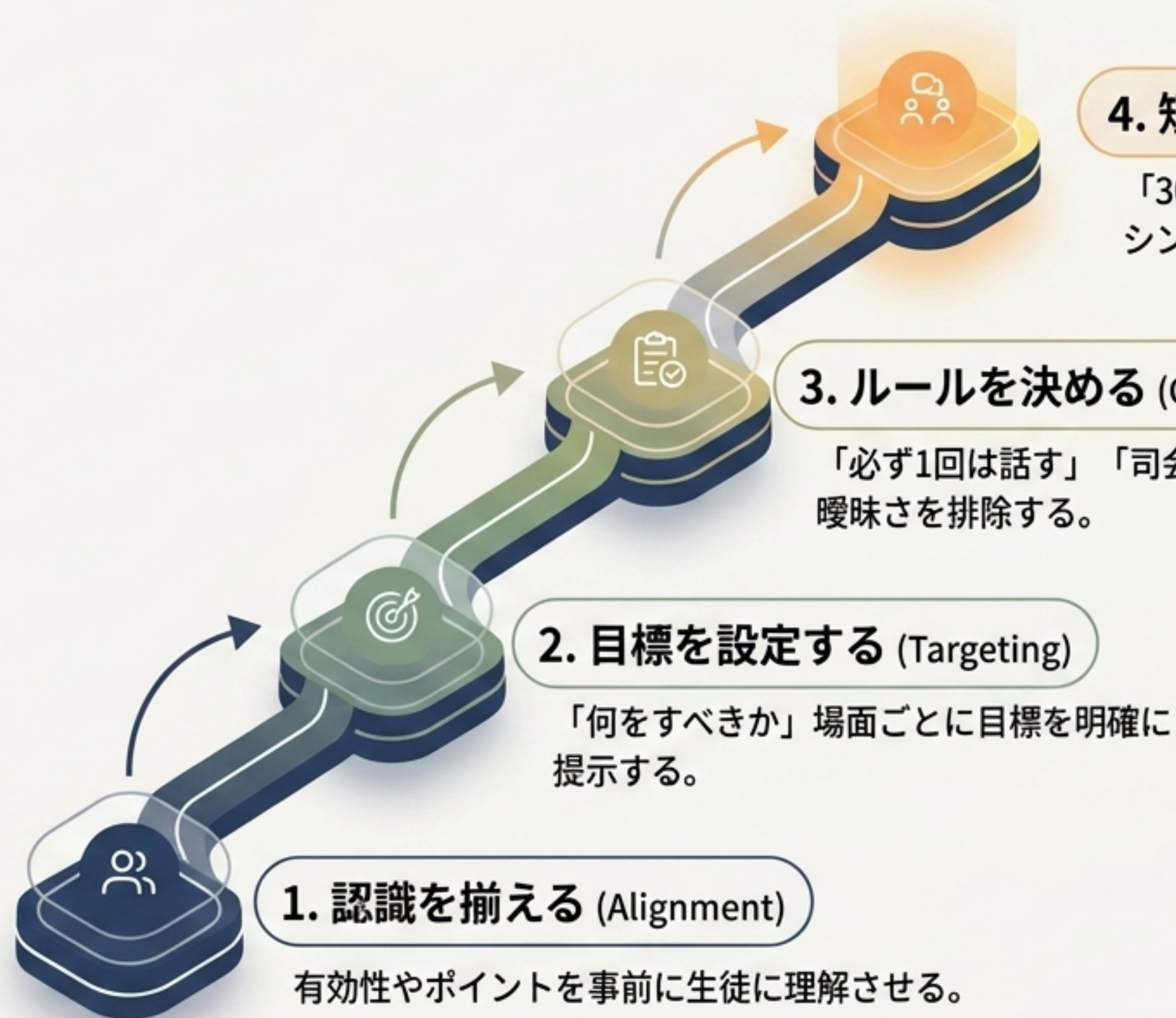
知識の双方向ネットワーク：ピア・ラーニングがもたらす5つの効果



【診断マトリクス】ピア・ラーニングの光と影、そして教員の役割



ピア・ラーニングを成功に導く4つの実装ステップ



💡 データが示すペア学習の真実

「能力差があるペア同士の方が学習効果が上がり、成績上位層が下位層に足を引っ張られることはない」という研究結果が存在します。普段の生活班から機能と姿勢を整えることが重要です。

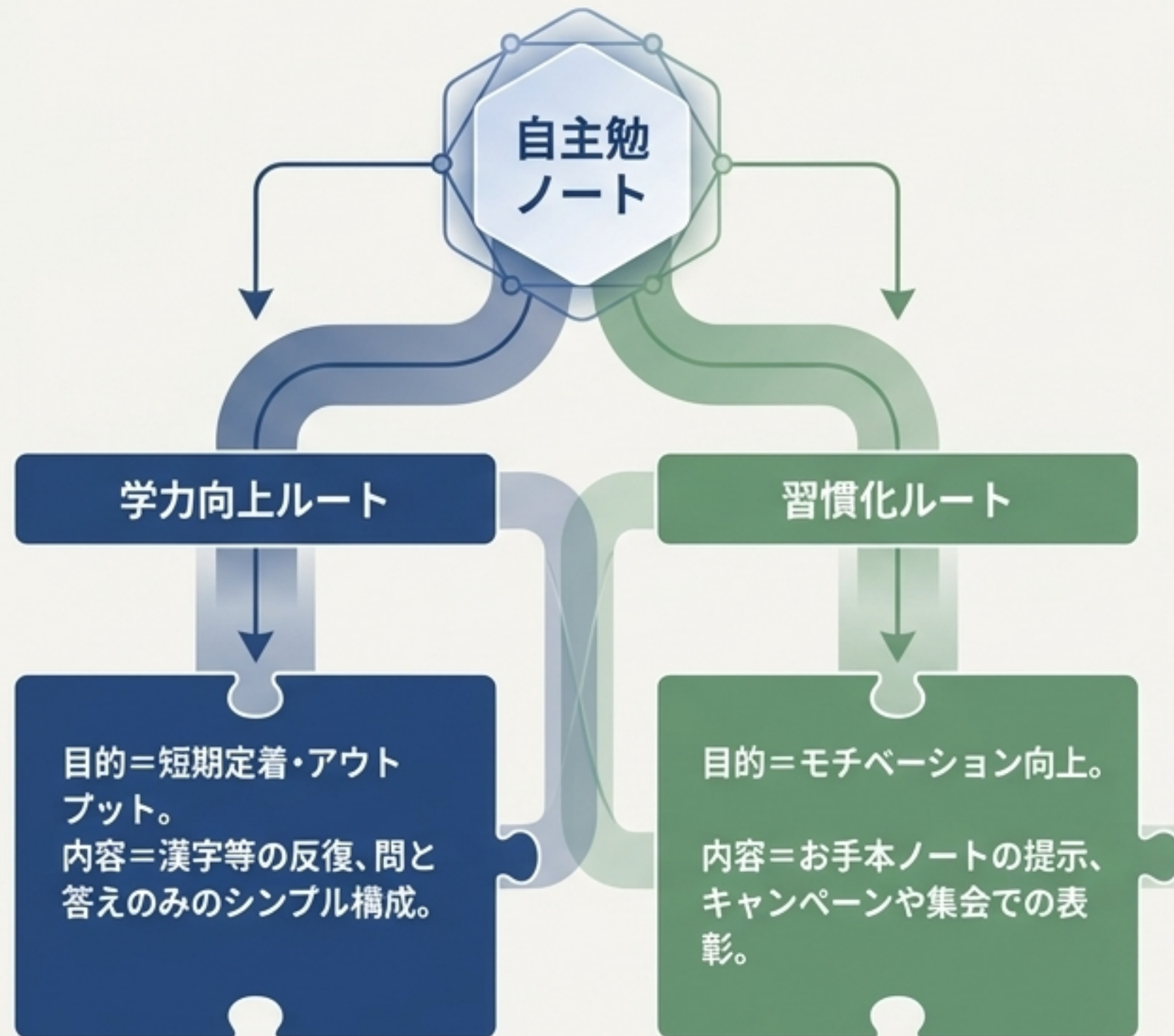
実践：「分かる授業」を生み出す5つの基本オペレーティングシステム



研究授業を通じたOSのアップデート：A研（1年道徳）、B研（全学年教科）を通じ、教員全員で授業をブラッシュアップします。

授業外アプローチ：目的別の家庭学習とデータ駆動の学力分析

家庭学習の2つの道筋



学力分析のターゲット層



定期テストごとに各学年2名を対象とした詳細分析を実施。

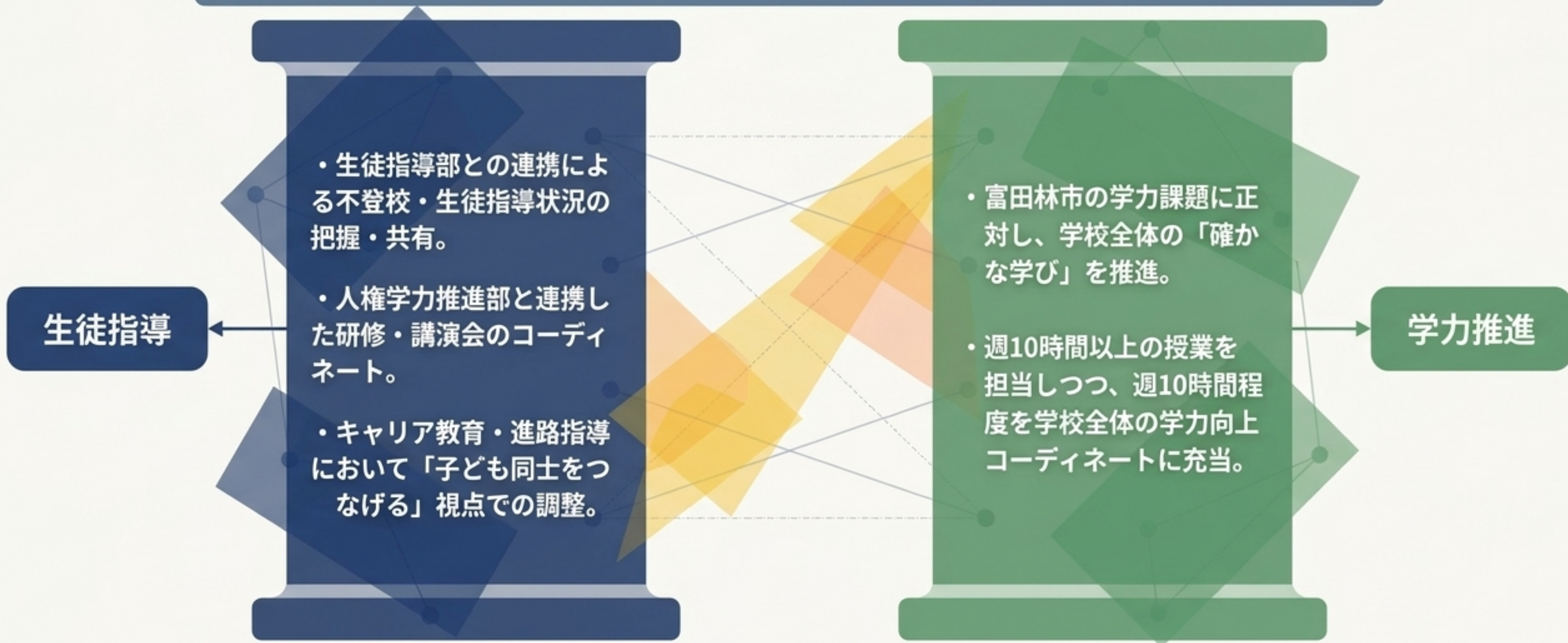
対象プロフィール

- | | |
|----------------------|-------------|
| • 平均点未達 | • 気持ちの波がある |
| • まじめに受講・勉強しているが伸びない | • 背景に課題を抱える |

目標: これらの生徒に平均点程度の学力をつけさせる。
※生徒へは点数とヒストグラムを配布し立ち位置を可視化。

実行を支える2つの専門的サポート体制

学校全体・授業（Classrooms）



全体統合：すべてのアクションが「誇・絆・輝」に収束する

Ecosystem Map



緻密に計算された『分かる授業（OS）』が基盤となり、そこに『ピア・ラーニング』が組み込まれることで、生徒同士の【絆】が生まれます。全員が授業内で活躍し【輝く】経験を積むことで、最終的に葛城中生としての揺るぎない【誇り（自立）】へと結実するシステムです。



『命の尊さを深く理解し、ちがいを認め合い、
一人一人が輝ける優しい生徒の育成と学校の創造』

自他を尊重し、
安心できる笑顔あふれる
居場所づくり。

見通しを持たせ、
全員にわかりやすい
授業の実践。

生徒自身が計画・運営し
充実感を得る行事と、
幼小中・地域との深い連携。

生徒と教師が一丸となり、仲間と共に伸びる葛城中学校を実現しましょう。